

今月の薬事用語解説

「サーム」

サームとは、SERM (Selective Estrogen Receptor Modulator) のカタカナ読みで選択的エストロゲン受容体調整薬を指します。SERM (サーム) は骨のエストロゲン受容体を選択的に作用し、閉経からくる骨量の低下を改善する効果があります。



破骨細胞

骨芽細胞

骨粗しょう症

⇒ サームを内服 ⇒

正常な状態

骨は、骨を壊す細胞（破骨細胞）と骨を作る細胞（骨芽細胞）によって日々代謝され、造りかえられています。女性は、閉経後エストロゲンの分泌が低下し、これにより骨の代謝バランスが崩れることがあります。骨を壊す細胞（破骨細胞）の働きが強くなると、骨量が低下して骨粗しょう症の状態になります。SERM (サーム) はこの状態を正常に近づけ、骨量の低下を防ぐ作用があります。

骨粗しょう症とは「低骨量と骨の構造劣化が特徴的で、その結果、骨の脆弱性が増し、骨折が生じやすくなった全身性の骨疾患」と定義され、国内の患者数は女性980万人、男性300万人と推計されています。治療薬には選択的エストロゲン受容体調節薬（サーム）のほか、カルシウム製剤、女性ホルモン、活性型ビタミンD製剤、ビタミンK2製剤、ビスホスホネート製剤、ヒト型抗RANKLモノクローナル抗体、PTH製剤、抗スクレロシン抗体、カルシトニン製剤、イブリフラボンがあります。特にサーム製剤は骨代謝を閉経後より閉経前に戻すだけなので、ビスホスホネート製剤のように骨代謝の過剰抑制の心配がないとされています。当院ではサーム製剤としてエビスタ®を採用しています。エビスタ®は骨粗しょう症の他に高脂血症、動脈硬化、乳癌の抑制等の付加価値もあります。骨粗しょう症には総合診療科の他に当院整形外科外来で整形外科学会専門医が診療にあたっています（火曜日は14:00から、水曜日は9:00から）。

今月の注目薬品

「フィナステリド錠1mg」

フィナステリドはテストステロンを悪玉DHTに変換する2型5 α -リダクターゼの生成を抑制する薬であり、元々は前立腺肥大の治療薬としてFDAに認可されていました。

AGA (男性型脱毛)の原因はテストステロンの5%が「2型5 α リダクターゼ」で悪玉DHTになるからです

テストステロン(男性ホルモン)

2型5 α リダクターゼ

DHT (悪玉) → AGA

代謝後、尿中排泄

フィナステリド1日1mgはDHTの活性を約55%抑制するとされ、服用した男性の9割に効果（42%に脱毛の停止、48%に脱毛の停止と毛髪の再成長）が認められたそうです。当院AGA外来は火曜日の午前と土曜日の午後です。

薬剤科紹介

薬剤科では「薬に関わる場所全て薬剤師が関与」を目指し、薬剤師8名、薬剤事務員2名が一丸となって医薬品関連業務に取り組んでいます。

薬剤科業務内容

①薬剤管理指導、②退院時薬剤情報管理指導、③薬剤総合評価調整、④注射薬品調剤、⑤入院調剤、⑥外来調剤、⑦外来手帳指導、⑧薬品管理、⑨医薬品情報管理、⑩特定薬剤治療管理 (TDM)、⑪薬学部学生指導、⑫医薬品安全使用研修会

また、薬事委員会をはじめICTや回復期リハビリテーションカンファランス、透析チーム等委員会活動やチーム医療にも薬剤師が職能を発揮すべく積極的に活動しています。（薬剤師若干名募集中）



お薬のことで心配な事がありましたら、遠慮なくご相談ください。皆様が安心して薬物療法に専念していただけるよう薬剤科はご相談をお待ちしております。